

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

No. **66**
2021年
6月10日

〒680-0811 鳥取市西品治806(鳥取県労連気付)
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172

子どもが庭で怯えることなく 遊べる日々であってほしい



中国・四国地方における米軍機の低空飛行訓練ルート
「しんぶん赤旗」5月10日付より転載

県東部で米軍機の低空飛行訓練に悩む地域住民が、低空飛行を考える会「そらはつながる」を結成し、学習会を開催したり騒音測定器の設置などを求める署名活動に取り組んでいます。

このたび、会の事務局メンバーで若桜町在住のひやまちさとさんに寄稿していただきました。

「そらはつながる」は、いのか、あの飛行機はな
2020年11月頃に鳥取
県東部の山あいの地域か
ら、米軍ジェット機の低
空飛行訓練に悩む地域住
民がつながり立ち上がり
ました。

現在事務局メンバーは
9人。若桜町、八頭町、
河原、用瀬、智頭町など
で、それぞれの場所、ジェ
ット機の低空飛行の騒音や
恐怖に悩まされていまし
た。どこに相談したらいい

私には、2019年に大
阪から鳥取県若桜町にU
ターンしました。もとも
と大きな音が苦手で、若
桜町に暮らしてからは水
路の水音や小鳥のさえず
りにとても心を癒されて
います。しかし、初めて
低空飛行訓練の轟音を聞
いたときは戦争が始まっ
たのかと思うほどびっく

りしました。（戦争を経
験したことがないですが）
ちょうど、当時2歳の子
どもが庭に出ていて、縁
側から子どもに声をかけ
ようとしたとき。空が割
れるようなバリバリとい
う音、絵に描いたように
子どもは震え上がり、息
が止まったかと思いまし
た。そして、泣いて私に
抱きつきました。そんな
ことが、年に何度もあり、
誰にどう相談したらいい
かもわからず、Facebook
にそのことを投稿しまし
た。そこから何人かの鳥
取県議会議員さんとな
がり、他の地域の方と同
じ悩みを持つ人たちと出
会うことができました。

若桜町での低空飛行訓
練は役場が平成15年から
町民から寄せられた目撃
情報を記録しています。
令和2年度は26回報告さ
れています。町民の中に
は日常的なこととして受
け止めている人もいる一
方、やはり私と同じよう
に不安な気持ちを持つ人
もいらっしゃるようです。

若桜町が訓練に適して
いるという話は、地域住
民も昔から「朝鮮半島の
地形に似ているから」な
ど、噂レベルですが共通
認識があるようです。最
初は移住前に聞いていた
ら検討材料にしたのにと、
少し悔やんだりしました。
それでもジェット機が若
桜町を通らず、他の地域
を通れば安心かという
と、そういうことではない
この問題について改めて
考えています。

「そらはつながる」で
は、若桜町に限定せず
活動していこうとしてい
ます。それは、若桜町へ
やってくるジェット機は
必ず他の地域を通過して
から若桜町へ来ているこ
と。そしてその飛び立つ場
所を辿れば、県を超えた
出来事になります。空が
つながっていることを、私
は初めて実感しました。
私の知らなかった日本の
問題を、このことを通し

て知ることになりました。
2021年、「そらは
つながる」のメンバーは、
鳥取県知事と若桜町長あ
てに騒音測定器の設置な
どを求めた署名活動を始
めました。現在、県は国
に対して設置を求めている
ようですが、それを待
たずに、鳥取県としてき
ちんと測定しデータを蓄
積してほしい、その動き
は低空飛行訓練への抑止
力につながるのではない
かと、私は考えています。

この国で、世界で起き
ていることは、いつか私
の小さな子どもの未来に
直接関わってくる。私は
まだ署名を持って一人ず
つ訪ねることには正直、
慣れていません。ドキド
キします。だけど、4歳
の子どもが庭で怯えるこ
となく遊べるような日々
であってほしい。そのた
めの小さな一歩を踏み出
したところです。

若桜町が訓練に適して
いるという話は、地域住
民も昔から「朝鮮半島の
地形に似ているから」な
ど、噂レベルですが共通
認識があるようです。最
初は移住前に聞いていた
ら検討材料にしたのにと、
少し悔やんだりしました。
それでもジェット機が若
桜町を通らず、他の地域
を通れば安心かという
と、そういうことではない
この問題について改めて
考えています。

コロナ禍で困窮する学生に食糧支援



受付をしてから食料を受け取る学生たち＝5月15日、米子市

新型コロナウイルス感染症拡大の中で、大学生を支援しようと全国でフードプロジェクトが展開されています。鳥取県内でも東部では鳥取大学と鳥取環境大学の学生支援のためにこれまでに7回のフードプロジェクトを開催してきました。

この度、西部地区の学生を対象に、民主青年同盟鳥取県委員会と米子医療生協が「フードプロジェクト米子」を立ち上げ、5月15日に第1回目の食料支援を実施しました。



会場は米子市児童文化センターです。土曜日とあって朝から親子連れで昔遊びやボードゲーム、プラネタリウムなどにぎやかです。訪れた市民からも「何やってるんですか？」と尋ねられることもしばしばで、趣旨を説明すると「良いことやってるね」と励まされました。

セット内容は米3kg、袋めん5個入、缶詰2個とお菓子です。50セット用意しました。追加の米も含めて68人の学生に支援することができました。学生からは「親が失業した」「仕送りはあるが、アルバイトがなくなると生活が困難」「医学部なので実習もあるし、座学は自宅からオンライン授業で、一日のうちアパートと大学を何往復もして大変」など切実な声が寄せられました。イベントのことはポスティングのチラシで知り、友人を誘ってきた学生も少なからずありました。「とても

助かります」と感謝され、今後の継続が期待されました。当日は、高校生から社会人までの民青同盟、米子医療生協のスタッフを中心に、11人で運営しました。生活などの相談に市議会議員が当たりました。

みんな初めての経験でしたが、東部で運営している民青同盟鳥取県委員長の杉本さんを中心に三回の会議を重ね、前日は深夜まで仕分け作業に当たり、成功させることができました。

貴重なお米や食品などを提供してくださった多くの方の厚意に感謝します。これからもよろしくお願ひします。
(米子医療生協 福島晴彦)

米子・境港で立憲野党の合同宣伝

米子市公会堂前での合同街頭宣伝では、立憲民主党の湯原俊二元衆院議員と西村みつこ鳥取県議、社会民主党の戸野要介米子支部代表、新社会党の門岡正原本部副委員長、日本共産党の又野史朗市議がリレートーク。「政権交代を実現し、国民に説明を尽くす政治にしよう」「コロナ対策で矛盾だらけの菅政権に日本の政治を任せておけない」などと、市民に力強くアピールしました。(岡村え)



5月27日、米子市



5月29日、境港市

再生エネルギーの普及は賛成
だけど、大規模風力発電は、
どうなのかしら？



第2回 オンライン・シンポジウム

テーマ 再生可能エネルギーを中心とした
エネルギー政策について

◆市民連合の野党への要求政策のシンポジウムの第2回は、「再生エネルギー」がテーマです。◆発言では、いま県内で問題になっている「大型風力発電」について、なにが問題なのか、再生エネルギーの普及はどうかあるべきか、各分野、現地のみなさんの発言をうけ、一緒に考えてみたいと思います。◆どなたでも視聴・参加できます。ぜひ、お気軽にご参加ください。

6月13日(日) 午前10時～11時30分

- ◆メイン会場：鳥取市文化センター第5会議室
- ◆中部会場：竹中書道塾(湯梨浜町久留18-7)
- ◆西部会場：民商県連事務所(米子市博労町3-90)

※メイン会場と視聴者会場をオンライン(Zoom)でむすんでおこなうシンポジウムです。



鳥取市南部で計画されている大型風車の建設イメージ図

メイン会場と視聴者会場以外でも、個人のパソコンやタブレット、スマートフォンでもインターネットに接続できれば視聴できます。個人の視聴参加には事前準備(Zoomアプリのインストール)と参加する際のIDとパスワード取得が必要になります。個人視聴を希望される方は、必ず事前にオンライン事務局にご連絡ください。

オンライン事務局：福住(090-8064-1684)メール：fukuzumih@mac.com

主催：鳥取県革新懇 鳥取市西品治806鳥取県労連気付 事務局：山内(080-1910-0349)